



政治とくらしは密着している！

政治というと「何だか生活には直接関係なさそう」「身近じゃないからわからない」といった声も聞かれます。私たちのくらしは国の法律や県や市など、地方自治体の条例などで守られています。条例はより気持ちよく暮らせるように自分たちで定める決まりです。つまり山鹿市に合った決め事を自分たちで作れるのです。そして予算（税金）の使い道を決めていくのも政治です。

私たちのくらしがより良いものになるように、ひとりでも多くの市民の皆様の声に耳を傾け、市政に反映していきたいと思っています。

☆毎回おこなった一般質問☆

市民の皆様の声をもとに、全ての議会定例会で一般質問をしました。改善できたものや取り組みが始まったものもありますが、まだ今後も訴えていかねばならないものもあります。

きちんと検証してアツく前向きに取り組んでいきます！主なものをご紹介します。

開かれた議会

○山鹿市議会だよりの発行

H25年2月、議員全員協議会ではっとり香代が提案し、準備期間を経て、H26年6月創刊しました。

年4回発行しています。

○議会報告会の開催

H27年度より年1回発行しています。充実した内容になるように努力していきます。

○議会のインターネット視聴（録画）

H27年6月議会から見るできるようになりました。

豊かな市民生活

○市民交流センター運営の改善

都市計画区域等の問題で限定された催ししかできなかったこと等を、H27年3月議会で指摘し改善を訴え、H28年4月から適正に運営できるようになりました。

○山鹿地区公民館の設置

山鹿中央公民館の廃止とともに、山鹿地区公民館は事務所も定まっておらず、H26年12月議会とH27年9月議会で設置を求め、H28年4月に設置されました。

子どもたちの育ち

○インフルエンザ予防接種の助成

1回4300円程だった費用は経済的な負担が大きく、H25年9月議会で助成を求め、H27年より18歳以下の子どもたちは1回1500円の負担で接種できるようになりました。

○放課後児童クラブの充実

H26年6月議会で設置に関する定員や面積要件、実施等について指摘し、改善を求めました。引き続き訴えていきます。

○学校や図書館での読書推進

図書館の充実や学校図書推進員の必要性を、H26年3月、H27年9月議会で訴えました。更なる推進を求めます。

安心・安全な暮らし

○自主防災組織の組織率向上

組織率UPと地域づくりについてH25年12月議会で取り上げ、市は積極的な取り組みを約束しました。H28年9月議会で、要支援者の避難についても要望しています。

○地域活動拠点の充実など福祉向上

H27年5月の議会報告会で市民より障がい者の活動について要望があり、市民福祉委員会で調査官等を行い、より市民の思いに寄り添った活動ができるように、関係機関との協議をしました。高齢者福祉やあいとりタクシー等の交通システムについて、更なる充実を図ります。

積極的に！精力的に！活動中！！

熊本地震からの復旧・復興に向けて、様々な法律や制度の制定もできるように取り組んでいきます



支援物資搬送、女性支援、避難所支援に奔走
(益城中央小学校にて)

山鹿市内の温泉を楽しまれた、熊本市北区の被災者の皆さん

山鹿市民による温泉ボランティアおよび県外ボランティア宿泊提供、災害ボランティアセンターへの市民の送迎などをコーディネートしました。



ローカルマニフェスト (LM) 地方議員連名の幹部の皆さんと共に、内田西原村副村長、西村益城町長、大西熊本市長と会談し、直ちに支援が開始されました。(6/28)

プロゴルファー古閑美保さんと蒲島県知事を繋ぎ、熊本県へ義援金を渡されました。



LM 地方議員連盟熊本勉強会には、全国の地方議員が参加しました。大西熊本市長の講演や現地視察も立案し、好評を得ました。



北川正恭早稲田大学名誉教授(元三重県知事)を、山鹿へお連れしました。

アラブ首長国連邦(UAE)から、アジュマン国王子と女性リーダーが、熊本支援においてになりました。

活動報告会を開催しています。皆さんもご参加ください。